

評価の観点	思考・判断・表現	単元	公民的分野「現代の民主政治と社会」(3年生)	実践日時	R1. 10. 19
本時のねらい	多額の費用をかけて国道21号の立体構造を建設する理由を追究することを通して、行政は市民の願いや岐阜市の持続可能なまちづくりの実現を目指して計画されていることに気づき、地方自治とは地方公共団体が計画、立案するだけでなく、まちづくりの主権者である市民が積極的に政治参加していくことが大切であることが分かる。				

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

【手立て①：既習内容との意識のずれから課題を設定する】

導入では、身近な問題である国道21号立体構造建設に関する資料を提示し、「車が信号で止まる必要がなくなり、渋滞が減りそうだ。」という期待感を抱かせた。そして、名古屋高速の工事費用を例に、多額の費用がかかる資料を提示した。生徒は、既習内容である岐阜市の財政と関連付けながら、「多額の費用をかけてまで立体構造を建設するのはなぜか。」と意識のずれから課題を設定することができた。

【手立て②：資料との対話的な学び】

追究資料には、岐阜市役所広域事業推進課の方の話、国土交通省岐阜国道事務所の方の話、そして、国道21号沿いの市民に対するアンケート結果と地元説明会の状況を掲載し、市の立場、国の立場、市民の立場から国道21号立体構造建設について考えさせた。生徒は、既習内容である公共の福祉や効率と公正、国民主権などと関連付けて考えを深めた。どの立場も大切にしていることを考えることで「市民の願いの実現」「持続可能なまちづくりの実現」と考えを広げることができた。

【手立て③：深い学びにするために】

持続可能な社会を構想するにあたり、生徒は社会の仕組みを理解した上で、社会に見られる課題を明らかにしなければならない。そのために、根拠を明らかにし、問いを生み出す指導を行った。本時では、まずは多額の費用をかけてまで国道21号に立体構造を建設する理由を理解させ、次に、疑問に思ったことを自由に交流する場を設けた。建設計画に関わる資料を根拠に、「都市計画では立体構造建設が約40年前から決まっているのに、どうして国・岐阜市は地元説明会を行っているのだろう。」という疑問を抱いている生徒が多数いることを確認し、それを社会に見られる課題として考察させた。効率よりも手続きの公正さを大切にしていることに生徒は気付くことができた。

<板書、生徒の作品、ノートなど>

本時のねらい 多額の費用をかけて国道21号の立体構造を建設する理由を追究することを通して、行政は市民の願いや岐阜市の持続可能なまちづくりの実現を目指して計画されていることに気づき、地方自治とは地方公共団体が計画、立案するだけでなく、まちづくりの主権者である市民が積極的に政治参加していくことが大切であることが分かる。

本時の展開

つかむ

生徒の主な学習活動と生徒の意識の流れ

1. 国道21号立体構造建設に関する資料を提示し、課題を設定する。
・車が番号で止まる必要がなくなり、渋滞が減りそう。
・立体構造にすると、国道21号線沿いの店はどうなるのだろうか。
・岐阜市の財政はよくなっていくけれど、多額の費用をかけるのはどうだろうか。

2. 国と市、市民の視点から個人で追究し、全体で交流する。そして、疑問に思ったことを交流する。

【国の立場】

・国道21号の岐阜市内区間は、県内で最も交通量が多い区間となっており、朝や夕方には、常に渋滞している。また、県内、有数の交通事故多発場所、主な事故は渋滞後尾への追突事故。これらの交通課題を解消するために、国道21号を立体構造とすることが必要である。

【市の立場】

・立体構造建設予定地の近くには、岐阜県内唯一の中央卸売市場や岐阜貨物ターミナルがある。多くのトラックが国道21号を利用して運ぶので、渋滞の解消は輸送の効率化につながる。

・国道21号沿いには多くの観光地が立地している。国史跡の岐阜城などへの観光客の増加が見込まれているため、立体構造建設は岐阜市の活気あふれるまちづくりにつながる。

広める

市民の願いの実現 持続可能なまちづくりの実現

立体構造にすることは、道路利用者にとっても、市民の願いを実現することにも、岐阜市の持続可能なまちづくりを実現することもある。そのため、国は、岐阜市と協力しながら国道21号立体構造の建設を進めている。

【問い】都市計画では立体構造建設が約40年前から決まっているのに、どうして国・岐阜市は地元説明会を行っているのだろう。

3. 約40年前に立体構造建設が計画されていたにも関わらず、国・市が地元説明会を行っている理由を考えよ。そして、行政の方の言葉から、私たち市民が大切にしなければならぬことについて考えよ。

・市民はまちづくりの主権者であるから、時間にかけてでも市民の合意を得る必要があったからではないか。
・効果ではないかもしれないが、手続きの公正さが地方自治では大切だからではないか。

【行政の方の話】
約40年前の計画でそのまま建設するのではなく、現在の利用状況を踏まえた計画とするために、検討を進めています。そこで、私たちは、国道21号沿いの市民の意見を聞くために、アンケート調査や説明会を開催しています。市民が可能な限り参加できるように努力しています。今後もまちづくりの主権者である市民の願いを聞きながら、持続可能なまちづくりを目指していきます。

4. 本時の学習を振り返る。

国道21号立体構造を建設するのは岐阜市や国の仕事かもしれない。しかし、利用していくのは私たち市民だ。私たちは政治に積極的に参加していかなければ、願いが届くはずもない。それに、市民が政治に参加する機会が、気付いていないだけで周りにたくさんある。例えば、自治会への積極的な参加や、情報公開を利用した行政からの情報の取得、行政からのアンケートへの回答、地元説明会への参加などがある。ボランティアも身近な政治参加だ。今まで自分の政治参加について意識してこなかったが、岐阜市をよりよくするために、自分にできることを考え、行動していきたい。

国道21号の立体構造は、持続可能なまちづくりや市民の安心・安全を創り出そうとしていることが分かった。私たち主権者がどれだけ参加しているかによって、意見が反映されるかどうかが変わってくる。だから、地方自治では住民参加が大切なんだ。はじめは地方自治への参加は他人事で何をすればよいか分からなかったけれど、地域の一員として自分自身にできることを考えることが大切であることが分かった。ボランティアも身近な政治参加だ。アンケート調査や説明会等に積極的に関わって、よりよいまちづくりに参画していきたい。

ふかめる

深い学びに迫るための指導の手立て

○交通渋滞の解消と立体構造の工事費用の資料をもとに、岐阜市の財政と関連付けながら課題を設定する。
【共通しをもつ】
○全体交流では、既習内容である「公共の福祉」「効率と公正」「国民主権」や他分野と関連付けている生徒を意図的に指名し、何を根拠にしているのかを問いつけよう。
【広げる】
○全体交流では、「国や市は何を大切にしているのだろうか」と問い、市民の願いや岐阜市の持続可能なまちづくりを実現しようとしていることに関心をもち、根拠を生み出す。
【広げる、深める】
○根拠を明らかにし、問いを生み出す。
【2の場面】
・初問指導では、「効率と公正」の視点から捉えようとしている生徒に対して、「何が効率ではないのか」と問い、約40年前から立体構造建設が決められていたにも関わらず進まなかったこと、岐阜市が地元説明会を何度か行っていることは効率的ではないことに気付かせる。
・疑問に思ったことを交流する場を設けて、約40年前から立体構造建設が計画されていたことについて考えている生徒を全体交流で意図的に指名する。
○生み出した問いについて考察する。
【3の場面】
・役所の方の話から、まちづくりの主権者である私たちは何を大切にしなければならぬのかを考えさせる。
○本時の学習を振り返る場面では、単元を貫く課題「地方自治に住みよくなるように関わっていかねばいいのか」に立ち返らせ、地域の一員として、まちづくりの主権者として、自分にも何かができることはないかと考えさせるようになり、自己の変容に気付かせる。
【振り返る】

まとめる

評価と手立て

【評価規準】(思考・判断・表現)
国道21号立体構造建設は、市民の願いや岐阜市の持続可能なまちづくりの実現を目指して、国や市、市民が一体となって計画していることをつかみ、まちづくりの主権者である市民の参加が地方自治においてどうして欠かさないのかを考察することができる。
【評価方法】
・2、3の場面での記述、発言内容

生徒の学習状況B	生徒の学習状況A (一例)
国道21号線の立体構造を建設することに関心を持ち、根拠を明確にし、国や市、地方自治にとつて住民参加が大切であることを考察している。	国道21号線の立体構造を建設することに関心を持ち、根拠を明確にし、国や市、地方自治にとつて住民参加が大切であることを考察している。
Bへ到達させるために手立て	A (一例) へ到達させるための手立て
① 追究の視点を明らかにして追究させる。	① 岐阜市民の一人として、国道21号線の立体構造建設にどのようなように関わっていかねばいいのか、その具体的な方法に着目させる。
② 岐阜市役所の方の話から、「国民主権」、「地方自治は民主主義の学校」であることを着目させる。	② 岐阜市役所の方の話から、「国民主権」、「地方自治は民主主義の学校」であることを着目させる。

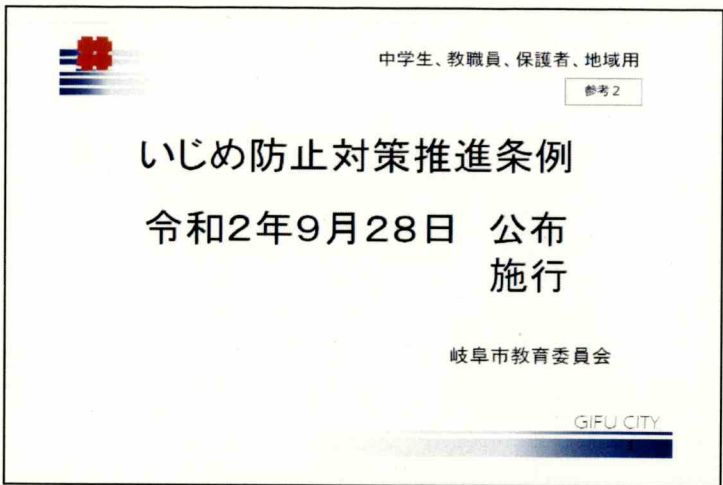
評価の観点	関心・意欲・態度	単元	公民的分野「地方自治と私たち」(3年生)	実践日時	R2. 7. 10
-------	----------	----	----------------------	------	-----------

本時のねらい 岐阜市のいじめ防止対策推進条例(令和2年9月28日 公布)に対してパブリックコメントを作成する活動を通して、地方自治が身近にあることに気づき、これからの生活で積極的に地方自治に関わろうと思うことができる。

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

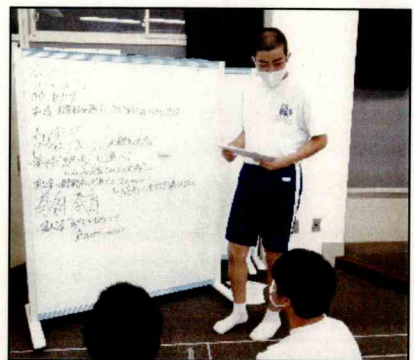
【手立て①：住んでいる町の条例の活用】

・地方自治に関して、生徒は選挙をすることが政治参加の第一歩だという意識でいた。しかし、パブリックコメントという自分の意見を市に提出できる方法があることに気付かせ、さらに自分たちの生活する岐阜市の条例について考えさせる事で、条例を自分事として捉え、考える事ができた。



【手立て②：深い学びにするために】

・自分たちの考えをホワイトボードで可視化し、自分の言葉で発表させることで、自分の考えを仲間に伝えようと工夫することができた。また、発表する際に、様々な仲間の考えを聞くこと、聞く際の視点を明確にすることで、自分たちの考えと比較して考える生徒が多く見られた。

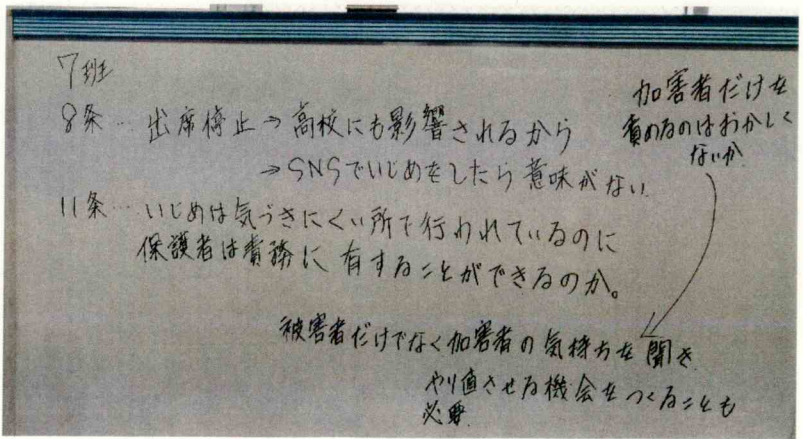
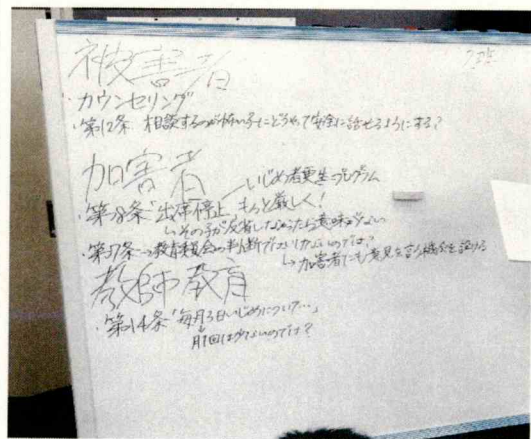


【手立て③：学びを実感できる評価の工夫】

・全体で考えを発表する生徒を指名し、学級全員の中から意見を出させることで、さらに違う視点や考え方に気付いたり、自分と同じ考え方であることで、自分の考えに自信がもてたりする生徒が増えた。また、自分の振り返りを仲間に話す際に、考えを理解できる生徒が教室での授業に比べて増えた。



<板書、生徒の作品、ノートなど>



【公民 第3章 現代の民主政治と社会】 3節 地方自治と私たち

<p>本時のねらい (2・3/ 3)</p>	<p>岐阜市のいじめ防止対策推進条例(令和2年9月28日 公布)に対してパブリックコメントを作成する活動を通して、地方自治が身近にあることに気づき、これからの生活で積極的に地方自治に関わろうと思うことができる。</p>			
<p>評価規準</p>		<p>評価方法</p>		
<p>【関心・意欲・態度】 岐阜市のいじめ防止対策推進条例(令和2年9月28日 公布)をもとに、自分なりの意見を考え、パブリックコメントとして市長に意見することができる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2, 3の場面での発言内容。 ・ 4の場面での記述内容 		
<p>【本時活用したい既習の知識、概念】 ・ 地方自治は人々の暮らしに身近な民主主義の場である。 ・ 岐阜市の条例の作成には住民の参加が必要だ。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民として、選挙だけでなく様々な方法で地方自治に参加できる。。 		
<p>場 つかむ ふかめる まとめる</p>	<p>生徒の主な学習活動と生徒の意識の流れ</p>			
<p>1 前時の振り返りをし、本時の課題を設定する。 ・ 岐阜市のいじめ防止対策推進条例(令和2年9月28日 公布)には、いじめをする側の責任や処罰について書かれている。 ・ 条例は地方議会で作るものだと思っていたけど、自分たちも意見を出していいんだな。 ・ みんなが納得のいく条例にするためには改善点は無いらうか。</p>		<p>○指導・援助 ◆個に応じた手立て・資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜市のいじめ防止対策推進条例 ○岐阜市のいじめ防止対策推進条例について理解できているかを、導入の問いかけで確認する。 <p>【実態を見届ける】 ○条例に対して自分たちも意見を出すことができるということから課題を設定する。</p>		
<p>岐阜市のいじめ防止対策推進条例に対してパブリックコメントを作成しよう</p>		<p>○交流する中で、人権や様々な立場など複数の視点から話せている生徒を価値付けることで、既習内容を想起させる。</p>		
<p>2 前時に考えた条例に対する考えを、ホワイトボードを用いて交流する。</p>		<p>○交流の方法] ①3人一組のグループを作り、グループ考えを作らせる。 ②考えが完成したら、発表する順番を決め、発表者以外は他のグループの発表を聞き、ノートにメモをさせる。</p>		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p>被害者の立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害者の立場を考えると、安心して学校生活を送るためには、何がいけないことで、なぜいけないのかを明確にしているこの条例は良いと思う。 ・被害者だけでなく、被害者の家族も辛い思いをしているはずだ。その視点の考えも必要だ。 </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p>加害者の立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加害者はいじめをした事実をはっきりとわかる必要がある。 ・いじめをして学校に来られなくなることは、教育を受ける権利の侵害にならないだろうか。 ・学校に来ないことがいじめの本当の解決につながるとは思えない。被害者の立場を考える場を作ることが大切だ。 </td> </tr> </table>		<p>被害者の立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害者の立場を考えると、安心して学校生活を送るためには、何がいけないことで、なぜいけないのかを明確にしているこの条例は良いと思う。 ・被害者だけでなく、被害者の家族も辛い思いをしているはずだ。その視点の考えも必要だ。 	<p>加害者の立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加害者はいじめをした事実をはっきりとわかる必要がある。 ・いじめをして学校に来られなくなることは、教育を受ける権利の侵害にならないだろうか。 ・学校に来ないことがいじめの本当の解決につながるとは思えない。被害者の立場を考える場を作ることが大切だ。 	<p>※メモの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちにはない視点 ・自分たちと似ている内容 ・自分たちにはない立場
<p>被害者の立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害者の立場を考えると、安心して学校生活を送るためには、何がいけないことで、なぜいけないのかを明確にしているこの条例は良いと思う。 ・被害者だけでなく、被害者の家族も辛い思いをしているはずだ。その視点の考えも必要だ。 	<p>加害者の立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加害者はいじめをした事実をはっきりとわかる必要がある。 ・いじめをして学校に来られなくなることは、教育を受ける権利の侵害にならないだろうか。 ・学校に来ないことがいじめの本当の解決につながるとは思えない。被害者の立場を考える場を作ることが大切だ。 			
<p>学校や市の立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長がいじめの加害者の出席を止めるということは権利として大きすぎるのではないか。 ・学校の先生が私たちの近くに来てくれることには意味があるな。 		<p>【全体交流の方法】 ①複数の立場や、既習の内容を活用できているグループを発表させる。 ②メモの内容をもとに質疑応答をする。</p>		
<p>3 交流の後、代表発表の生徒を決め、発表に対して質疑応答の時間を作る。</p>		<p>【深い学びにつなげるための手立て】 様々な立場に立って考えること、様々な仲間の考えを知ること、多面的に課題を追究することができ、また、次時のパブリックコメントに対する返答をもらう際に、自分事として聞くことができる。 【2, 3, 4の場面】</p>		
<p>～質問例①～ ・加害者だけの事を考えているが、それでいじめは解決するとは思えません。 ～解答例①～ ・加害者だけでなく、加害者の家族にも被害者の気持ちを知ってもらう必要があると考えました。しかし、自分がもしいじめを受けていたら自分の気持ちを話そうとは思えません。だから先生や市の協力を得て、加害者に考えさせる事が大切だと思います。</p>				
<p>～質問例②～ ・私は出席停止にすることは、被害者が安心して学校に来るためには必要な事だと思います。 ～解答例②～ ・出席停止にしたら被害者は安心して学校に来ることができるかもしれませんが、しかし、なぜいじめがいけなかったのか。何がいじめに発展してしまったのかは学校生活の中で感じられることもあると思います。</p>				
<p>4 本時の学習を振り返ってまとめを書き、交流をする。</p>		<p>○5の場面で、ノートへのまとめを交流することを通して、一人一人の考えを相手に伝える場面を確保し、相手からの評価を受けることで学びを定着させる場を確保する。 【定着状況を見届ける】</p>		
<p>いじめ防止対策推進条例が改正されて、いじめは加害者と被害者だけでなく、学校や市など、様々な立場から考えていかなければならないことが分かった。様々な立場に立ってみると、いじめを解決することは本当に困難だ。しかし、どうしたらいじめは解決するのか。どうしたら、安心安全に学校生活を送れるのかを考えることは大切だ。そうやって色々な考えを作るだけでなく、自分の意見としてパブリックコメントを提出できることはとても重要だ。いじめだけでなく、その他の岐阜市の課題も考えてみたい。</p>				